

「福祉サービス第三者評価」等を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	友生園	受審(実施)年度 (※)	令和元年度	施設番号	41-0050
-----	-----	-----------------	-------	------	---------

※第三者評価または利用者調査実施の年度

項目	評価結果に基づく現状分析 (令和元年度)	改善計画 (令和元年度末時点)	実施状況(予定を含む) (令和2年4月30日時点)	左記実施状況に実施予定があった場合の実施状況 (令和 年4月30日時点)
記録の意義 目的等を改 めて共有し 計画に添っ た支援経過 がわかる記 録の書き方 について	各日誌や支援経過記録からは利用者の意向を基にどのような経緯でその支援が行われたか、心身状況はどうであったか等が読み取りにくい。記録の意義や目的等を改めて共有し、計画に添った支援計画がわかるよう、記録の書き方を整えられたい。	各グループ日誌や支援台帳はグループ係長やサービス管理者が内容を確認し、利用者さん個人の目標や支援計画に添った支援状況を端的に記録するようにと話し、書き方の見直しや指導を行っています。	1 実施済み ② 実施予定 (令和2年4月ごろ) 左記の内容については実施済みですが、グループ日誌に利用者さんの支援計画や支援内容等を掲げ、確認しながら記録できるようにします。	1 実施済み (令和 年 月) 具体的には以下のとおりです。
利用者への 支援体制に ついて、自 分自身の行 動を客観的 に捉えて検 証する取り 組みについ て	利用者の権利を尊重することの重要性について注意喚起を図っているが十分な理解が進まない状況が伺えるため、より具体的な取り組みの継続により、権利擁護の重要性への認識を深め、自覚を促していくことが期待される。	毎月の虐待防止・責任者会議の参加を係長以上から主任以上にし、会議内容を速やかに全職員に伝えていきます。また年3回の虐待防止チェックリストの結果を公表し、全職員に権利擁護の重要性を伝え、自覚を促しています。	① 実施済み 2 実施予定 (令和2年1月ごろ)虐待防止・責任者会議の参加を係長以上から主任以上にし、情報の共有に努めました。また虐待防止チェックリストの結果について保護者や第三者委員と共に話し合い、職員の自覚を促しています。	1 実施済み (令和 年 月) 具体的には以下のとおりです。
中間層職員 の資質や指 導力を高め るための取 り組みにつ いて	OJT の進め方の整備等を通して、育成方法や手順を具体化するとともに、中間層の職員の学び方の機会を強化することにより、育成担当者としての役割と責任を理解し、行動できるように取り組まれたい。	元年度からチューター制度を導入し、同グループよりチューターを選出して、新任職員の指導にあたりましたが、決められた手順書が無かったため、指導の偏りが有ってはいけないと年度途中ですがマニュアルを作成しました。	1 実施済み ② 実施予定 (令和2年月4ごろ) チューター制度についてマニュアルを作成しましたのでR2年度よりマニュアルに添ったOJTを進めていくよう職員に周知しています。	1 実施済み (令和 年 月) 具体的には以下のとおりです。

※この様式は、「東京都民間社会福祉施設サービス推進費補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「ときよう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。